



Vol.64 2022.2.1

2月にないました！

～私立高等学校合格発表中です！～

先週1月27日（木）より私立高等学校の合格発表が続いています。結果は様々だとは思いますが、これからさらなるステップアップのきっかけにしてほしいものですね。さて、この私立高等学校の合格発表を受けて、改めて自分の進路を選択していくわけですが、もう一度家族で真剣に話し合って、自分の進路を決定してください。



今後の公立高等学校受験における日程

1月31日	(月)	4校時	公立高等学校入学願書下書き・点検
2月1日	(火)	2校時	公立高等学校入学願書配布
2月2日	(水)	朝	公立高等学校入学願書清書一日前提出
2月3日	(木)	朝	公立高等学校入学願書清書提出締め切り
		午後	公立高等学校受験料収入証紙購入
2月4日	(金)	午前	公立高等学校入学願書清書に収入証紙添付・再点検
2月7日	(月)	午後	公立高等学校入学願書等書類提出（各高等学校及び始良伊佐教育事務所）

今後は上記のように、公立高等学校受験のための日程が進んでいきます。それに伴い、私立高等学校に進学を決定する場合は下記のような日程になります。

今後の私立高等学校進学に向けての日程

合格発表時	公立高等学校出願辞退届配布		
2月3日	(木)	朝	公立高等学校出願辞退届1日前提出
2月4日	(金)	朝	公立高等学校出願辞退届提出締め切り
入学手続き完了時	私立高等学校入学手続き完了届提出		

上記のように私立高等学校への進学を決定し、2月4日（金）朝までに「公立高等学校出願辞退届」を提出していただければ、後日公立高等学校受験料2200円を現金で返金いたします。2月7日（月）以降に私立高等学校への進学を決定した場合には公立高等学校受験料2200円は返金できませんのでご了承ください。尚、公立高等学校入学願書提出後でも、充分考慮した上で私立高等学校への進学を決定した場合は、できるだけ早く「公立高等学校受検辞退届」をご提出いただき、速やかに私立高等学校への入学手続きを完了してください。その際も64「私立高等学校入学手続き完了届」の提出をお願いします。

いよいよ公立高等学校受検に向けて！

昨日1月31日（月）4校時に公立高等学校入学願書の下書きをしました。いよいよですね！私立高等学校への進学を決めている人もいますが、3年生の多くのみんなが公立高等学校を受検するのです。今こそ溝辺中学校3年生の「ちから」が発揮される時なのです！公立高等学校を受検しようと決めているみんなは、今とても不安な時期を過ごしているはず。そんな人たちの不安やドキドキを少しでも緩和してくれるのが私立高等学校への進学を決めた人たちの行動なのです。3年1組全員が受検を終えるまで、クラス一丸となって公立高等学校受験を突破していこう！



おとうさんがびょうきでなくなってから

ぼくは小学一年生になりました。

おとうさんにほうこくがあります。

きっとみてくれているとおもうけど、ぼくはおとうさんのおべんとうばこをかりました。

ぼくは、きのうのことをおもいだすたびにむねがドキドキします。

ぼくのおべんとうばこはしがあたって、すてきなおとがきこえました。

きのうのおべんとうは、とくべつでした。

まだ十じだというのに、おべんとうのことばかりかんがえてしまいました。

なぜきのうのおべんとうがとくべつかというと、それはおとうさんのおべんとうばこをはじめてつかったからです。

おとうさんがいなくなって、ぼくはとてもさみしくてかなしかったです。

おとうさんのおしごとは、てんぷらやさんでした。

おとうさんのあげたてんぷらはせかい一おいしかったです。

ぼくがたべにいくと、いつもこっそり、ぼくだけにぼくの大きなエビのてんぷらをたくさんあげてくれました。

そんなとき、ぼくはなんだかぼくだけがとくべつなきがしてとてもうれしかったです。

あれからたくさんたべて空手もがんばっているのでいままでついていたおべんとうばこではたりなくなってきました。

「大きいおべんとうにしてほしい」

とぼくがいうと、おかあさんがとだなのおくからおとうさんがいつもしごとのときにもっていったおべんとうばこを出してきてくれました。

「ちょっとゆうくんには、大きすぎるけどたべれるかな」

といいました。

でも、ぼくはおとうさんのおべんとうばこをつかわせてもらうことになったのです。

そしてあさからまちにまったおべんとうのじかん。

ぼくはぜんぶたべることができました。

たべたらなんだかおとうさんみたいに、つよくてやさしい人になれたきがして、おとうさんにあいたくなりました。

いまおもいだしてもドキドキするくらいうれしくておいしいとくべつなおべんとうでした。

もし、かみさまにおねがいができるなら、もういちどおとうさんと、おかあさんと、ぼくといもうととみんなでくらしたいです。

でもおとうさんは、いつも空の上からぼくたちをみまもってくれています。

おとうさんがいなくて、さみしいけれど、ぼくがかぞくの中で一人の男の子だから、おとうさんのかわりに、おかあさんといもうとをまもっていきます。

おとうさんのおべんとうばこでしっかりごはんをたべて、もっともつつよくて、やさしい男の子になります。

おとうさん、おべんとうばこをかしてくれてありがとうございます。

(第4回「いつもありがとう」作文コンクール最優秀賞)